

言語コミュニケーション学部 専門教育分野 TLO : Target and Learning Outcomes

| 授業科目 区分 | 授業科目名 | 科目コード ナンバー | ナンバ リング | 科目 種別 | 単 位 | 1. 科目の目的 | 2. 科目の到達目標 | 3. ディプロマポリシー | | | | | | | |
|--------------------------------------|----------|---------------|------------|----------|--|--|------------|---|--|--|---|---|--|--|---|
| | | | | | | | | DP1 | DP2-a | DP2-b | DP3 | DP4 | DP5 | DP6-a | DP6-b |
| | | | | | | | | 社会人として活 躍するために必 要な幅広い知 識と思考力、判 断力、表現力を 身に付けている | 自立した言語 (英語)使用者と して、身近な話 題について主要 な点を理解し、 筋の通った簡単 な文章を作ること ができる | 「異文化コミュニ ケーション」(グ ローバルビジネス コミュニケーション) 英語教育のいず れかの領域につ いて体系的に立 った専門知識と それを活かすた めの分析力が身 に付いている | デジタル環境を 活用しつつ、社 会の諸課題を 調査、分析し、 解決する方策を 論理的に日本 語および平易な 英語で提案でき る | 他者の異なる価値 観を「個性」と して受け入れ、社 会関係を構築、 保持、修正す るために日本語 および平易な 英語でやり取り する力を有してい る | 日本および国際 社会の諸課題 を他人事ではな く自分の問題と して捉え、解決 に向けて何をす べきかを考え、 行動する習慣 が身に付いてい る | 公共の利益の ために、他者と 目標を共有した うえで、確固た る倫理観にもと づき、自ら率先 して行動できる | 海外留学などの 経験を通じて、 新しい可能性に チャレンジし、諸 問題を解決する 行動力が身に 付いている |
| コミュニケーション学 | M-SOC102 | 100 | 講義 | 2 | コミュニケーションの仕組みを学ぶとともに、社会活動や情報技術との関係についても考察する。 | コミュニケーションの重要性を再認識し、自らのコミュニケーション能力も向上させる。 | | | ◎ | ○ | | ◎ | ○ | | |
| アメリカ研究 | M-ARS102 | 100 | 講義 | 4 | アメリカ社会の諸相を、特に社会学の立場から分析し、アメリカの多様性を捉える「視座」を養うための学修を行う。 | アメリカの実像と虚像の部分を追求し、アメリカを鏡として日本の国民性やあり方も再考する。 | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| イギリス研究 | M-ARS103 | 100 | 講義 | 2 | イギリスの社会、文化、歴史を中心に研究し、イギリスらしさとは何かを理解するための学修を行う。 | イギリスの社会、文化、歴史などを研究し、国の成り立ちや世界に対する影響について理解する。 | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| アジア研究 | M-ARS104 | 100 | 講義 | 2 | 近年の発達が目覚ましいアジア諸国の歴史や文化、教育制度、主要産業の動向を学修する。 | アジア諸国の歴史と現在の発展状況を深く理解するとともに日本との関係性についても適切に考察する。 | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 異文化コミュニケーション論 | M-SOC201 | 200 | 講義 | 4 | 様々な文化的背景を持った人々とコミュニケーションを図り、理解を深めるために必要とされる知識・スキルを包括的に学ぶ。 | 世界の文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解し、多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体系的に理解している。英語が関わる国際や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解している。 | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | | | |
| 英語通訳法入門 | M-ENG201 | 200 | 実習 | 4 | 短いニュースを使用して逐次通訳スキルを理解し、通訳技能を身につけるための学習を行う。 | 1分以内の英語/日本語のニュースを聞きながら書き取ったメモを助けて、日本語/英語でわかりやすく再表現できる。 | | ◎ | ○ | | ○ | | | | |
| 英語通訳法入門 | M-ENG210 | 200 | 実習 | 4 | 通訳とは何か、通訳ジャンルの違い、通訳、AI通訳などさまざまなトピックに関する基礎知識を知り、通訳ジャンルの特徴的な表現・日本語に特有な語彙の交換を自然な形で行えるようにするための初歩的な方法を実践を通して学ぶ。 | 英語・日本語、通訳ジャンルの特徴的な違いについて具体的に知ることで、英語・日本語間の言語的交換をする際のような点に注意すべき点を把握することができる。 | | | ◎ | ◎ | | | | | |
| Media and Communication | M-MED216 | 200 | 講義 | 4 | Communication, as a concept and practice, is the focus of the course. What is communication and how do people communicate? The subject media and communication studies - its history, scope and relationship to related subjects - is further studied. The course also offers a social science and cultural science outlook for the study of communication. Current changes and challenges associated with communication is presented and discussed during the course. | The goal of this class is to show that how media and communication are closely related in this globalized world today. | | | ○ | ◎ | ○ | | ○ | | |
| Current Topics | M-SOC213 | 200 | 講義 | 4 | To improve listening skills and discussion strategies and to gain knowledge of current events. | To develop critical thinking skills and to understand/discuss current issues and national/international news | | | ◎ | | ○ | ○ | ◎ | | |
| Contemporary Global Issues and Japan | M-IRE218 | 200 | 講義 | 4 | Sudents will be introduced to a variety of topics related to the most important issues that are impacting the world and Japan. | The goal of this class is to show that Japan is not independent of issues facing the world today. | | | ○ | ◎ | ○ | | ◎ | | |
| Life in the UK | M-ARS213 | 200 | 講義 | 2 | To learn many aspects of the UK, such as history, geography, culture, education, and politics | To become familiar with historical, cultural, linguistic, governmental, and societal facets of the UK. | | | ○ | ◎ | | ◎ | ○ | | |
| 国際政治学 | M-POL201 | 200 | 講義 | 4 | 「国際社会の紛争と協調」について、基本的な捉え方、歴史的な背景、今日の諸課題とありあけ、国際政治の知見を深める。 | (1) 国際政治の多様な考え方を理解し、それらを組み合わせた分析ができるようになる。(2) 地域の諸問題を国際的な視野の中へ捉え、両者の相互作用を説明できるようにする。(3) さまざまな社会現象を多角的に考察し、バランスのとれた提言ができるようになる。 | | | ○ | ○ | | ◎ | | | |
| 国際法 | M-LAW201 | 200 | 講義 | 4 | 国際法の全体像をつかみ、国際社会で起っていることを法的側面から捉え、国際社会の平和や将来像について考える。 | (1) 国際法の基本的な概念や用語を理解し、説明できる。(2) 国際社会における出来事や法的側面からも考えられる(3) 国際社会への関心を自ら深める。 | | ○ | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 国際理解論 | M-IRE206 | 200 | 講義 | 4 | 異なる価値観をもつ人々が平和な社会を構築するための国際理解のあり方について、SDGsの目標の豊かさを基盤に、社会の問題を自分ごととして考える能力を育成する。 | (1) 世界の多様な社会や文化の違いについて知る。(2) 異文化の他者と共生していくための基本的な視座を理解する。(3) 多文化共生社会で摩擦を乗り越え平和な社会を構築するための思考力、実践力を養う。 | | | | ◎ | | ○ | | | |
| ジェンダー論 | M-SOC207 | 200 | 講義 | 4 | ジェンダー研究の歴史を概観し、関連する諸領域の現代における事項を通じて自らの日常に目を向け、そこにジェンダーがいかに深く関わっているかに気づくように意識を高める。 | ジェンダー研究の学問としての基本的事項を知ることができる。ジェンダー研究の歴史の変遷を学ぶことができる。現代社会におけるジェンダーの諸問題に対する意識を高めることができる。 | | | | ◎ | ◎ | ○ | | | |
| 英語通訳法 | M-ENG301 | 300 | 実習 | 4 | インタビューやトークを使用して逐次通訳の技能を身につけ、英語のリスニング力とスピーキング力を養成する。 | 1〜2分程度の英語/日本語のインタビューやトークを聞きながら書き取ったメモをみて、日本語/英語でわかりやすく再表現できるようにする。 | | ◎ | ○ | | ○ | | | | |
| メディアとジャーナリズム | M-MED324 | 300 | 講義 | 4 | メディアの役割、特性を学び、ジャーナリズムに関する理論と実践を学ぶことにより、グローバル社会におけるメディア・コミュニケーションの光と陰を理解する。 | メディアの役割、ジャーナリズムの本質と実践について理解を深め、メディアの発信・受信の確にできるようなる。 | | | ◎ | ○ | | ◎ | ○ | | |
| Cross-Cultural Communication | M-SOC321 | 300 | 講義 | 2 | Discussing the contemporary social issues in Japan and identifying what Japaneseness is all about. | By mingling with JSP / E-Track students, broader perspectives should be nurtured with regard to intercultural communication. | | | ○ | ◎ | | ◎ | ○ | | |

II 異文化間コミュニケーション

| 授業科目 区分 | 授業科目名 | 科目コード ナンバー | ナンバ リング | 科目 種別 講義 演習 実習 PBL など | 単位 | 1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、 どのような内容の理解を狙いと するか。 | 2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学 生がどのような学修成果の達成 を目指すか、何を到達目標とす るか。 | 3. ディプロマポリシー | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------|------------|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|--|---|--|--|--|
| | | | | | | | | DP1 | DP2-a | DP2-b | DP3 | DP4 | DP5 | DP6-a | DP6-b | | | |
| | | | | | | | | 社会人として活躍するために必要な幅広い知識と思考力、判断力、表現力を身に付けている | 自立した言語(英語)使用者として、身近な話題について主要な点を理解し、筋の通った簡単な文章を作成することができる | 「異文化コミュニケーション」 グローバル ビジネス コミュニケーション 英語教員養成 のいずれかの領域について体系立った専門知識とそれを活かすための分析力が身に付いている | デジタル環境を活用しつつ、社会の諸課題を調査、分析し、解決する方を論理的に日本語および平易な英語で提案できる | 他者の異なる価値観を「個性」として受け入れ、人間関係を構築・保持・修正するために日本語および平易な英語でやり取りする力を有している | 日本および国際社会の諸課題を他人事ではなく自分の問題として捉え、解決に向けて何をすべきかを考え、行動する習慣が身に付いている | 公共の利益のために、他者と目標を共有したうえで、確固たる倫理観にもとづき、自ら率先して行動できる | 海外留学などの経験を通して、新しい可能性にチャレンジし、諸問題を解決する行動力が身に付いている | | | |
| | Cross-Cultural Studies A | M-SOC305 | 300 | 講義 | 2 | By examining sports-bound issues across different societies, we will evaluate cultural similarities and differences that may not be obvious in other ways. | To provide students with an understanding of the inter-relationship of sport in society. | | | ○ | ◎ | | ◎ | ○ | | | | |
| | Cross-Cultural Studies B | M-SOC306 | 300 | 講義 | 2 | Investigating cultural differences between Japan and the United States. | To develop critical thinking skills and to understand/discuss values behind behaviours. | | | ○ | ◎ | | ◎ | ○ | | | | |
| | 国際関係論 | M-IRE310 | 300 | 講義 | 4 | 国際関係にかかわる現代の様々な論争的イシューに関して、具体的なかつ詳細に議論する。 | 複雑な国際情勢を作り出す様々なイシューに関して、自分の立ち位置を見極め、議論を排して最も妥当な形で解決策を模索する姿勢を身につける。 | | | | | | ◎ | | ◎ | | | |
| | 言語コミュニケーション学部特殊講義A | M-LNG306 | 300 | 講義 | 2 | 社会人基礎力としてのコミュニケーション能力とは何かを明らかにするとともに、よりよい人間関係の構築と維持のための方策について、ともに考える。 | 社会生活におけるコミュニケーションの重要性を再確認するとともに、各自のコミュニケーション能力を高める。 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | 言語コミュニケーション学部特殊講義B | M-LNG307 | 300 | 講義 | 4 | 多文化共生社会で必要となるコミュニケーション能力についての知識を深め、国際社会で役立つコミュニケーションスキルの訓練を行う。 | 文化によって異なるコミュニケーションのあり方を知るとともに、多文化社会に適応可能なコミュニケーション力を獲得する。 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| Ⅲ 英語 ビジネス コミュニケーション | ロジカル・コミュニケーション | M-LNG102 | 100 | 講義 | 2 | 自分の考えを論理的に表現する能力および他人の考えを論理的に理解する能力を涵養する。 | 口頭であっても書面であっても論理的であるかを意識しながらコミュニケーションできるようにする。 | | | ◎ | ○ | ◎ | | ○ | | | | |
| | ビジネス概論 | M-CME104 | 100 | 講義 | 4 | グローバル社会の構成要素である経済活動について、その構造や社会への影響について学ぶ。 | ビジネスの仕組みの基本を理解し、企業と社会との関連に関心を抱くようになる。 | | | | ◎ | ○ | | ◎ | | | | |
| | 観光ビジネス論 | M-TRS203 | 200 | 講義 | 2 | 観光産業を構成するそれぞれの産業分野が、移動、宿泊、食料等の基本的なサービス提供だけでなく、現地(到着地)の観光資源や関係する多くの主体との複合的な関わりやそれぞれの役割について理解する。 | 観光に関する最新の動向や基本的なツールズについて理解するとともにワーケーションなどの新しいツールズや観光資源、受入環境(関係する多様な主体)の役割等について理解することが出来る。 | | | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | | | | |
| | 国際ビジネス論 | M-MNG203 | 200 | 講義 | 4 | (1)国際経済や国際投資の現状と理論。(2)企業が国内から海外へとビジネスを拡張する過程や管理・運営のあり方を学修する。 | 激変する国際環境下における企業経営態様やその変化を、具体的な実例を交えながら、理論と現状の両面にわたって考える。 | | | ◎ | | | ○ | ○ | | | | |
| | 貿易論 | M-CME205 | 200 | 講義 | 4 | 最近の国際貿易をめぐるトピックを題材にして、貿易理論や貿易制度政策について学修する。 | 国際貿易の基礎理論を理解し、貿易制度政策の現実問題について検討する。 | ○ | | | ◎ | ○ | ◎ | | | | | |
| | マーケティング論 | M-CME209 | 200 | 講義 | 4 | マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。 | 新聞や雑誌で取り上げられるマーケティングに関する記事を読んで理解できる。 | | | ◎ | | ○ | ◎ | | | | | |
| | マーケティングコミュニケーション論 | M-CME211 | 200 | 講義 | 2 | MC論の基本を学びつつ、事例を多く取り上げていきながら、可能な限り実態に即した学修を行う。 | 事例から疑似体験することによって企業でおこなう様々な問題解決に対応する分析・提言ができる。 | | | | ◎ | ○ | ◎ | | ○ | | | |
| | English for Tourism | M-TRS207 | 200 | 講義 | 2 | To gain English skills necessary for the tourism industry and hospitality. | Through cooperative learning, students will improve their English skills necessary for the tourism industry. | | | ◎ | | ○ | ◎ | | ○ | | | |
| | 観光ガイド実習 | M-TRS208 | 200 | 実習 | 2 | 歴史資産の多い川越をテーマに日本の歴史、文化を学び、観光ガイドという仕事についても学ぶ。 | ガイド実習を通して、得た知識を自分の言葉で他者に伝えるコミュニケーション能力を鍛える。 | | | ○ | ○ | ◎ | | ○ | ○ | | | |
| | English Business Presentation | M-LNG215 | 200 | 講義と演習 | 2 | To acquire basic skills of business presentation in English. | To achieve greater confidence in making presentation in English at formal business scenes. | | | ◎ | | ○ | ◎ | | ○ | | | |
| | College Listening and Speaking※1 | M-ENG204 | 200 | 実習 | 2 | To teach students key listening and speaking skills for academic situations. | To be able to effectively communicate in an academic setting. | | | ◎ | | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | College Reading and Writing※1 | M-ENG205 | 200 | 実習 | 2 | To teach students key reading and writing skills for academic situations. | To be able to effectively communicate in an academic setting. | | | ◎ | | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | 観光ガイド通訳 | M-LNG301 | 300 | 実習 | 2 | 通訳案内士試験を視野にいれ、観光ガイドに必要な日本の知識と英語力を身につけるための実習を行う。 | 観光案内をする時に知っておくべき基礎知識を習得し、わかりやすく英語で説明できる。 | | | ◎ | | | ○ | ◎ | | | | |
| | Business Communication | M-CME301 | 300 | 講義 | 2 | ビジネスの現場で役立つ英語表現を学ぶとともに、リスニングやプレゼンテーション力も養うための学修を行う。 | ビジネスの現場で必要なリスニング、文法、読解力、読解力を向上させ、TOEICの得点を向上させる。 | | | ◎ | | ○ | ◎ | | ○ | | | |
| | Intercultural Business Communication | M-ENG308 | 300 | 講義と実習 | 4 | 異文化ビジネスコミュニケーションの基礎を学び、英語で考えを表現し、交渉のシミュレーションを経験する。 | 異文化ビジネスコミュニケーションの基本的技術を獲得し、終了後さらに技術を発展させることができる。 | | | ◎ | | ○ | ◎ | | | | | |
| Intercultural Business Negotiation | M-ENG309 | 300 | 講義 | 4 | In this course, students will be introduced to the concepts and practices of conducting negotiations in business situations. | Students will be able to understand the cultural differences in negotiations and be able to navigate these differences through role plays and other activities. | | | ◎ | | ○ | ○ | | ◎ | | | | |

| 授業科目区分 | 授業科目名 | 科目コード ナンバー | ナンバ リング | 科目 種別 講義 演習 実習 PBL など | 単位 | 1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学習し、 どのような内容の理解を深めたい とするか。 | 2. 科目の到達目標 授業での教育・学習を通して学 生などのような学習成果の達成 を目指し、何を到達目標とする か。 | 3. ディプロマポリシー | | | | | | | | |
|-----------------------------------|----------|---------------|------------|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|--|---|---|
| | | | | | | | | DP1 | DP2-a | DP2-b | DP3 | DP4 | DP5 | DP6-a | DP6-b | |
| | | | | | | | | 社会人として活躍するために必要な幅広い知識と思考力、判断力、表現力を身に付けている | 自立した言語(英語)使用者として、身近な話題について主要な点を理解し、筋の通った簡単な文章を作成することができる | 「異文化コミュニケーション」(グローバル)「ビジネスコミュニケーション」(英語)「英語教員養成」のいずれかの領域について体系立った専門知識と、それを活かすための分析力が身に付いている | デジタル環境を活用しつつ、社会の諸課題を調査、分析し、解決する方を論理的に日本語および平易な英語で提案できる | 他者の異なる価値観を「個性」として受け入れ、人間関係を構築、保持、修正するために日本語および平易な英語でやり取りする力を有している | 日本および国際社会の諸課題を他人事ではなく自分の問題として捉え、解決に向けて何をすべきかを考え、行動する習慣が身に付いている | 公共の利益のために、他者と目標を共有したうえで、確固たる倫理観にもとづき、自ら率先して行動できる | 海外留学などの経験を通して、新しい可能性にチャレンジし、諸問題を解決する行動力が身に付いている | |
| Business in Asia | M-MNG324 | 300 | 講義 | 4 | In this course students study topics that center around the intercultural differences and business practices of various countries in Asia. | The goal of this course is to have students understand the similar and different points of business practices in Japan and other Asian countries. | | | ○ | ◎ | | | | ◎ | | |
| 企業研究 | M-MNG303 | 300 | 講義とPBL | 2 | インターンシップ等実務経験を踏まえてグローバルに展開する企業の特徴を研究し、グローバル社会で活躍するための基礎とする。 | グローバルに展開する企業について、ビジネス・社会・文化という幅広い視点から理解を深め、グローバル社会で働くための基礎となる素養を身に付ける。 | | | | ◎ | ◎ | ○ | | | ○ | |
| 企業のコミュニケーション戦略 | M-MNG330 | 300 | 講義とPBL | 4 | 企業のコミュニケーションについて理論を学び、実際の企業戦略を理解し、戦略を構築することができるようになる。 | 企業のコミュニケーション戦略を理解し、ブランド構築、広告・PR・IRの実際、クライスコミュニケーション等を分析できる。 | | | | ◎ | ○ | | ○ | | | ○ |
| ディベート技法 | M-LNG217 | 200 | 講義と演習 | 2 | 論理的、批判的思考の訓練を通して自身の正当性を伝える効果的な方法を学ぶ。 | 議論の仕組みを理解し、ディベートの基本的なスキルを習得する。 | | | | | | ◎ | ◎ | ○ | | |
| Advanced Argumentation & Debate | M-LNG322 | 300 | 講義と演習 | 2 | To understand the concept of argumentation and learn the rules and procedure of academic debate. | To be able to exchanging opinions on contemporary social issues with others in analytical and critical manner. | | ○ | | | ◎ | | ◎ | ○ | | |
| ビジネス プロジェクト J | M-MNG331 | 300 | PBL | 4 | PBL(プロジェクト型学習)を通してリーダーシップを涵養すると共に基本的なビジネススキルを習得する。 | 「権限にとらわれないリーダーシップ」を理解・実践し、ビジネスプランの策定・提案の技能を身に付ける。 | | | | ○ | ◎ | | | | | ◎ |
| Business Project E | M-MNG332 | 300 | PBL | 4 | To acquire leadership and basic business skills through project-based learning. | To find their individual leadership strengths, understand the outline of management, and acquire basic business skills. | | ○ | | | ◎ | | ○ | | | ◎ |
| 英文法 | M-LNG101 | 100 | 講義 | 2 | 英語の短編や英字新聞、雑誌を今まで学んだ英文法の知識を駆使して読み英文を効率よく読む。 | 英文法の知識を定着させ無意識に活用できるようにして英語の4技能を確かなものにする。 | | | ◎ | ◎ | | | | | | |
| 英語文学 A | M-LIT101 | 100 | 講義 | 2 | イギリス文学を概観し、代表的な作品を取り上げることによってイギリス文学作品の特色を学ぶ。 | 英文学作品の背後にある歴史、文化、時代背景を知り、英文学と英国についての広い知識を獲得する。 | | ○ | | | | | ◎ | | | |
| 教育原理 | T-EDU108 | 100 | 講義 | 4 | 「教育とは何か」に焦点を置きながら、教育の理念、思想、歴史等について基礎的な知識を網羅的に学ぶ。 | 1・教育の理念や目的を理解している。2・教育の歴史や思想を理解している。3・学校教育や社会教育等に関する基本的事項を理解できる。 | | | | ◎ | ○ | | | ○ | | |
| 教育相談 | T-EDU109 | 100 | 講義 | 2 | 教育相談を心理臨床学の視点からとらえ、基本的な理論及びその実際を学ぶために、多くの事例を取り上げる。 | 実践的かつ理論的な対応法は、基礎的・体系的な知識を欠くことが出来ないため、心理臨床学に裏打ちされた教育相談の基本を体系的に理解できる。 | | | | ◎ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 教育心理学 | T-EDU110 | 100 | 講義 | 4 | 教育場面に関わる心理学として4つの柱(発達・学習・測定・評価、人格・臨床)を中心に学ぶ。教職必修科目。 | 子どもや保護者の心理、学習や記憶のしくみを理解し、どのように教育評価を行ったり、生徒に接するべきかについて理解を深めることができる。 | | | | | ○ | | ○ | ○ | | |
| Academic Listening and Speaking A | L-ENG231 | 200 | 実習 | 2 | To teach students key speaking and listening skills for academic situations. | To be able to effectively communicate in an academic setting. | | ◎ | ○ | | ○ | | ◎ | | | |
| Academic Listening and Speaking B | L-ENG232 | 200 | 実習 | 2 | To teach students key speaking and listening skills for business situations. | To be able to effectively communicate in a business setting. | | ◎ | ○ | | ○ | | ◎ | | | |
| Academic Reading and Writing A | L-ENG229 | 200 | 実習 | 2 | To teach students key reading and writing skills for academic situations. | To be able to effectively communicate in an academic setting. | | ◎ | ○ | | ○ | | ◎ | | | |
| Academic Reading and Writing B | L-ENG230 | 200 | 実習 | 2 | To teach students key reading and writing skills for business situations. | To be able to effectively communicate in a business setting. | | ◎ | ○ | | ○ | | ◎ | | | |
| 英語学概論 | M-LNG202 | 200 | 講義 | 4 | 歴史、音韻論、統語論、意味論、語用論などの観点から英語とはどのような言語なのかを学ぶ。 | 言語学的原理を用いて英語という言語の体系的な知識を身につけ、上級の英語学研究的基礎を固める。 | | | ◎ | ◎ | | | | | | |
| 音声学 | M-LNG205 | 200 | 講義 | 2 | 英語と日本語の音声比較と実際の発音を通して、音声学の基礎知識の理論と実践を身につけるための学習をする。 | 英語と日本語の音の発音の仕方を理解し、英語音声学の基礎知識を身につけ、理論的に説明できる。 | | | ◎ | ◎ | | | | | | |
| 英語文学 B | M-LIT203 | 200 | 講義 | 2 | 米文学が開花した19世紀後半から自立した文学としての20世紀前半以降のアメリカ文学を学ぶ。 | 米国の代表的な作品の歴史、文化や時代背景を知り、アメリカ文学とアメリカそのものの理解を深める。 | | ○ | | ◎ | | | ◎ | | | |
| 英語児童文学 | M-LIT201 | 200 | 講義 | 2 | 世界中で広く愛読されてきた英語児童文学作品を読み直し各作品の時代性と特色を学ぶ。 | 英語児童文学作品を大人の観点から見直し、社会と児童文学史での役割と現代の児童文学の方向性を明らかにする。 | | ○ | ◎ | | | | ◎ | | | |
| 学校インターンシップ | M-EDU201 | 200 | 講義 | 2 | 学校教育の現場での学修支援活動を通して学校の現実を知り、教育のあり方についての理解を深めるための学修を行う。 | 教育現場での学修支援活動を実際に体験し、教職の現実を知るとともに学校教育に対する理解を深める。 | | | | ◎ | | | ○ | ◎ | ○ | |
| SLA&Education | M-LNG216 | 200 | 講義 | 2 | To discuss key issues in current second language acquisition (SLA) research and theory. | To understand the connection between SLA theories/research and foreign language teaching/learning. | | ○ | | ◎ | ◎ | | | ○ | | |
| 意味論 | M-LNG302 | 300 | 講義 | 2 | 主に日本語と英語を対象に、語、句、文等の発音的、構造的、一般的の意味の記述の仕方を学ぶ。 | 意味論における基本的な概念や考え方を理解・修得し、言語が持つ機能について理解を深める。 | | | ◎ | ◎ | | | ◎ | | | |

| 授業科目区分 | 授業科目名 | 科目コード ナンバー | ナンバ リング | 科目 種別 講義 演習 実習 PBL など | 単位 | 1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学習し、 どのような内容の理解を狙いと するか。 | 2. 科目の到達目標 授業での教育・学習を通じて学 生がどのような学習成果の達成 を目指し、何を到達目標とする か。 | 3. ディプロマポリシー | | | | | | | |
|-----------------------|----------|---------------|------------|---|--|--|--|---|--|---|---|---|--|--|---|
| | | | | | | | | DP1 | DP2-a | DP2-b | DP3 | DP4 | DP5 | DP6-a | DP6-b |
| | | | | | | | | 社会人として活 躍するために必 要な幅広い知 識と思考力、判 断力、表現力を 身に付けている | 自立した言語 （英語）使用者 として、身近な話 題について主要 な点を理解し、 筋の通った簡単 な文章を作成こ とができる | 「異文化コミュニ ケーション」「グ ローバルビジネ スコミュニケーション」「英語教 員養成」のいず れかの領域に ついて体系立っ た専門知識と、 それを活かすた めの分析力が 身に付いている | デジタル環境を 活用しつつ、社 会の諸課題を 調査、分析し、 解決する方策を 論理的に日本 語および平易な 英語で提案でき る | 他者の異なる価 値観を「個性」と して受け入れ、 人間関係を構 築、保持、修正 するために日本 語および平易な 英語でやり取り する力を有して いる | 日本および国際 社会の諸課題 を他人事ではな く自分の問題と して捉え、解決 に向けて何をす べきかを考え、 行動する習慣 が身に付いてい る | 公共の利益の ために、他者と 目標を共有した うえで、確固た る倫理観にもと づき、自ら率先 して行動できる | 海外留学などの 経験を通して、 新しい可能性に チャレンジし、諸 問題を解決する 行動力が身に 付いている |
| 社会言語学 | M-LNG318 | 300 | 講義 | 4 | 社会言語学の基礎を学ぶとともに 具体例をもとに理解を深め、 さらに大学内および大学近辺で のフィールドワークを行うこと により研究の実地体験を兼ねると 同時にデータから結論を導く過程 を体験する。 | これまでに集めてきた社会言 語学の理論と研究成果を理解 することを目標とする。また、授 業を通して各自の興味のあるト ピックを見出し、調査を行って研 究成果を教室で発表することを 目指す。 | | | ◎ | | ◎ | | | | |
| 英語文学 C | M-LIT301 | 300 | 講義 | 2 | 多くの英語文学がテーマとして いる家族についての作品から社 会の変化による家族の変遷を 認識する。 | 英語文学での聖家族に始まる 家族関係の変遷を扱う作品か ら、作家が伝えたいことと表現 手法を的確に捉える。 | | ○ | ◎ | | ◎ | | | | |
| Communicative Grammar | M-ENG303 | 300 | 実習 | 2 | 英文法の体系的理解と習得、そ して更なる応用力の伸長と、語 彙力増強を目指す。 | 主要な英語能力検定のReading sectionの読解を通じて、高度な 英文の構造と文法規則の理解 と習得を目指す。 | | ◎ | ◎ | | | | | | |
| 第二言語習得論 | M-LNG315 | 300 | 講義 | 4 | 第二言語習得研究の主要テー マと概念を学ぶ。特に、第二言 語習得における普遍的要因と 学習者要因の観点から、外国 語学習のあり方や教授法の変 遷を考察する。 | 第二言語習得研究の主要テー マと概念を理解できる。また、授 業で得た知識と洞察を生かし、 自身の英語などの外国語学習 の考察に役立てることができる。 | ○ | | ◎ | | | ○ | | | |